

OPSODIS 1

アクティブスピーカー・システム



本機の主な特長

- ・バイノーラル音声を含む空間オーディオを立体的に再生する OPSODIS技術*を搭載することにより、音楽や映画を圧倒的な没入感で楽しめます。
- ・Bluetoothを始め様々な入力(USB-C/光デジタル/AUX)に対応しておりますので、PC、スマートフォン、タブレットなどと接続して楽しめます。
- ・20W/chのハイパワーなアンプと3Wayスピーカーによるクオリティの高い音質が楽しめます。



*OPSODIS技術については3ページを参照ください

※Bluetooth® およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。

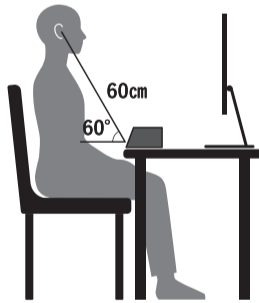
立体音響再生システム「OPSODIS」について

OPSODIS(オブソーディス)の原理

ひとは、耳で感じ取った音から、方向や距離などの空間情報を読み取ることができます。しかし、通常のステレオ再生では、左右のスピーカーからの音が両耳までの空間で混ざってしまうため、空間情報を得ることが困難です。OPSODIS技術では、独自のアルゴリズムによりスピーカーの音を混ぜずに両耳の届けることができるため、フロントスピーカーだけで音の空間情報を明確に再現します。

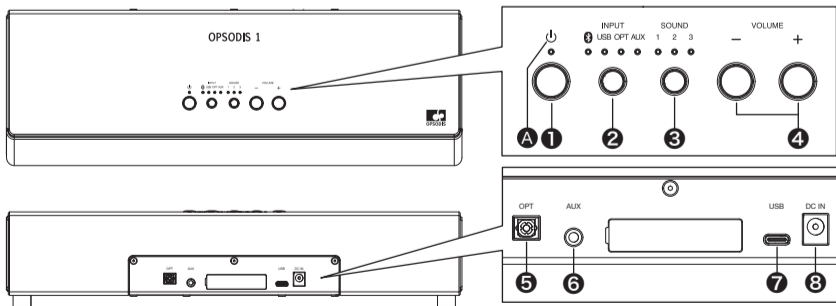
OPSODIS1の試験位置について

本機はデスクトップ使いをメインに想定しており、本機の正面の位置でスピーカーとリスナーの耳との位置関係が下イラストのような位置(距離が約60cm、角度 約60度)が最も立体音響効果を感じることができます。この位置から距離が離れたり、角度がずれていくと徐々に立体効果は弱くなります。またテレビの近くに本機を設置する際に、本機との視聴距離が遠く立体音響効果が少ない場合は、テーブル上など近い位置に設置していただくことで、より臨場感溢れる音響が楽しめます。本機は音源を持つ空間情報を再現いたします。立体的空間情報を持ったバイノーラル録音された音源やサラウンドで制作されている映画や空間オーディオと呼ばれる音源は、立体音響効果の再現性が高いです。またステレオ音源でもヘッドホンでの立体空間の再現を目指して制作されている楽曲も多く、そうしたコンテンツは高い立体音響効果が期待できます。一方、モノラル音源や通常のテレビ放送(特にニュースやバラエティ)などの空間情報が少ない音源では、立体音響効果は弱くなります。



OPSODIS 1 各部の名称と機能

低域・中域・高域それぞれ専用のステレオパワーアンプを搭載した2chアクティブスピーカーです。



- [ON] ボタン**
本機の電源をオン/スタンバイに切り替える際に使用します。スタンバイ状態の時、電源インジケータが赤に点灯します。(付属のACアダプタが接続されていない場合は、消灯します。)
- [INPUT] 選択ボタン**
※、USB、OPT、AUXのインプットを切り替えます。
- [SOUND] 設定ボタン**
音質を切り替えます。
Sound1 : Narrowモード
Sound2 : Wideモード
Sound3 : シミュレーテッドステレオモード
- [VOLUME] ボタン**
ボリュームの調節を行います。
- [OPT] インプット端子**
光ケーブルを使って外部音源を接続します。
- [AUX] インプット端子**
ステレオミニケーブルを使ってステレオ音源を接続します。
- [USB] インプット端子**
別売のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。
- [DC IN] 端子**
付属のAC電源アダプターを接続します。

安全上のご注意

ここでは、安全に関する項目について記載しています。あなたや他の人々へ与える危害や、財産などへの損害を未然に防止するため、ここに記載されている事項をお守りいただくものです。ご使用前に必ずお読みください。

警告	この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

さらに、各項目ごとに「図記号」を使用しています。これらの「図記号」は、つぎのような意味を表わしていますので、意味をよくご理解の上お読みください。

図記号の例

	△記号は、注意しなければならない内容(警告を含む)を示しています。具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「感電注意」を示しています。
	○記号は、禁止内容(してはならないこと)を示しています。具体的な禁止内容は○の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「分解禁止」を示しています。
	●記号は、強制内容(必ずすること)を示しています。具体的な注意内容は●の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「一般的な指示」を示しています。

警告

- 万が一煙が出ている、変なにおいや音が出るなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードを外してください。
- 煙が出なくなるのを確認してサービス窓口へ修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですので、絶対にお止めください。
- 万が一機器内部に水や異物が入った場合には、すぐに電源コードを外し、サービス窓口へご連絡ください。
- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万が一機器を落としたり、スピーカーを破損した場合には、電源コードを外しサービス窓口へご連絡ください。
- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

- 本機をお手入れする場合には、安全のため電源コードを外してください。感電の原因となることがあります。
- 本機を移動する場合には、必ず電源コードを抜いて、外部機器の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

仕様

- アンプ部
最大出力：20W/ch (1kHz 4Ω負荷)
歪率：0.1%
S/N比：90dB(A-Filter)
周波数特性：20Hz～20kHz(fs48kHz)
 - Bluetooth
通信方式：Bluetooth 標準規格 Ver.5.0
出力：Bluetooth 標準規格 Power Class 1
通信距離：10m
使用周波数帯域：2.4GHz 帯
対応プロファイル：A2DP, AVRCP
対応コーデック：SBC, AAC
対応コンテンツ保護：SCMS-T 方式
伝送帯域：20Hz-20kHz
 - USB
端子：USB typeC
インターフェース：USB2.0 ハイスピード
サンプリング周波数：32/44.1/48kHz
ビット深度：16bit
 - スピーカー部
型式：パッシブラジエーター式
スピーカー：
ウーファー 5.0 cm x 2
ミッド 2.5 cm x 2
トゥイーター 2.0 cm x 2
パッシブラジエーター 5.7 cm x 8.4 cm x 2
再生周波数帯域：55Hz～20kHz(-6dB)
 - 電源部/AC電源アダプター
入力：AC100V-240V (50Hz/60Hz)
出力：DC16V 4A
 - 使用温度範囲：0°C～45°C
 - その他
外形寸法：382mm(W) x 80mm(H) x 130mm(D)
※突起物含まず
質量：2.3kg ※本体
付属品：AC電源アダプター
取扱説明書(本書)
- ※すべてのBluetoothオーディオ機器 USBオーディオ機器との接続を保証するものではありません。
※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

オートパワーオフ機能

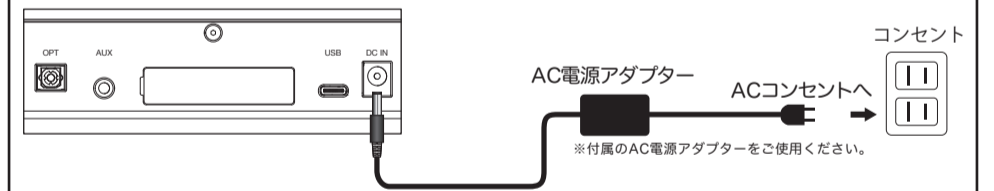
20分間音声の入力がない状態で本機を操作しないと自動的にスタンバイ状態になります。(19分を過ぎると電源のインジケータが赤く点滅します)

オートパワーオフ機能を無効にするには、電源のインジケータが赤く点灯したスタンバイ状態で[Sound] ボタンを押しながら[ON]ボタンを1秒以上押しとインジケータが1回赤く点滅して設定完了となります。

オートパワーオフ機能を有効にするには、電源のインジケータが赤く点灯したスタンバイ状態で[Sound] ボタンを押しながら[ON]ボタンを1秒以上押しとインジケータが2回赤く点滅して設定完了となります。

電源とスピーカーの接続

<注意>：機器間の接続は、電源をオフの状態で行ってください。



入力を切替える

- ※、USB、OPT、AUXの入力を切り替えます。
- 任意のインジケータが点灯するまで[INPUT]選択ボタンを繰り返し押しして切り替えます。

Bluetoothで接続する

本機のBluetooth機能を使ってワイヤレス受信を行うためには、初めに本機とBluetooth機能を有する機器とペアリング(接続設定)する必要があります。

- 本機の[ON]ボタンを押して電源を入れます。
- [INPUT]選択ボタンをBluetoothにし、そのまま約2秒間押しするとインジケータが速く点滅しペアリングモード(接続機器検索状態)になります。
※点滅後は手を離してください。
※点滅中に[INPUT]選択ボタンを押すと接続機器検索を中止します。
- スマートフォンなど接続するBluetooth機能のBluetooth機能を有効にしてください。
【Androidの場合】
[設定]→【無線とネットワーク】から[Bluetooth]をタップ→Bluetoothを有効にする。
【iPhoneの場合】
「設定」→[Bluetooth]をタップ→Bluetoothを有効にする。
- 接続するBluetooth機能のデバイス一覧に表示される【OPSODIS 1】を選択してください。
- ペアリングが完了するとインジケータが点灯に変わります。
※本機は、すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証する物ではありません。

インジケータの状態表示

状態	インジケータ
ペアリング待ち	速く点滅
接続待ち	ゆっくり点滅
接続完了	点灯

メモ

- 再度、ペアリングを行う場合は、[INPUT]選択ボタンを長押し、インジケータが速く点滅してから、ペアリングを行ってください。
- ペアリング接続待ち状態(インジケータが速く点滅した状態)でもペアリング履歴にある機器から接続操作を行うことでBluetooth接続を開始できます。
- Bluetooth接続完了の状態でも、本機の電源を切ると、Bluetooth接続も解除されます。
- [INPUT]選択ボタンを8秒以上長押しするとすべてのペアリング情報を消去します。
- Bluetooth接続中でも他の機器とのペアリングができますが、その場合は現在の接続は解除します。
- 8台までの機器の接続履歴情報(ペアリング情報)を記憶することができます。
- ペアリングモードに入ってから5分間ペアリングされなかった場合は、接続待ち状態へ戻ります。
- スマートフォンや音楽プレーヤー側でもボリューム操作ができますが、アンプ本体のボリュームとは独立して動作します。

Bluetooth接続がうまくいかないときは

ペアリングできない場合

- ・スマートフォンのBluetooth通信を一度オフ→オンしてから再度ペアリングする。
- ・本機の[⊙]ボタンを押してスタンバイにしたのちもう一度押して電源をオンし、[INPUT]選択ボタンを長押ししてインジケータが速く点滅した状態で再度ペアリングする。

ペアリング済みで再接続できない場合

- ・スマートフォンのBluetooth通信を一度オフ→オンしてから再度接続する。
- ・本機の[⊙]ボタンを押してスタンバイにしたのちもう一度押して電源をオンし、[INPUT]選択ボタンを長押ししてインジケータが速く点滅した状態で再度ペアリングする。
- ・スマートフォンで本機とのペアリングを解除してから、再度ペアリングする。

USBで接続する パソコンの接続と設定

本機を使用して音声を再生するには、パソコンのサウンド出力先に本機を指定する必要があります。

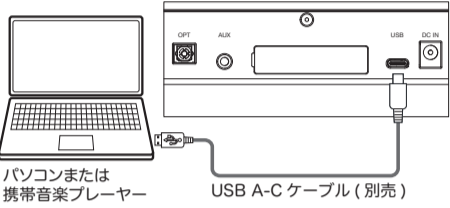
メモ パソコンのサウンド出力レベルを最大にすることで、高品質の音質を得る事ができます。

パソコンの条件

USB2.0対応のUSBポートを標準装備したパソコンを本機に接続することができます。
パソコンのOSは、Windows10以上、MacOS10以上を推奨します。

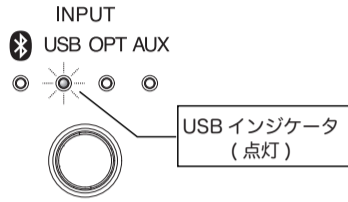
接続

別売のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。本機の電源をオンすると、パソコンが本機を認識して自動的にサウンド出力装置として登録します。



USB入力の選択

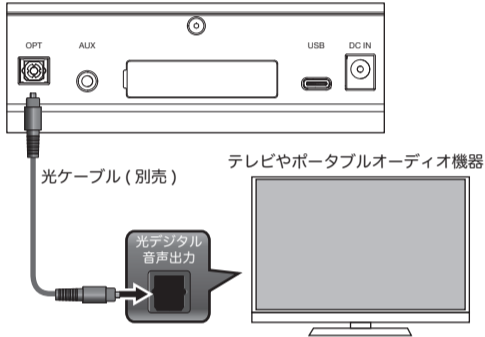
1. 本機の電源がオンしていることを確認します。
2. USBインジケータが点灯するまで、[INPUT]選択ボタンを繰り返し押します。



OPTで接続する その他のオーディオ機器との接続

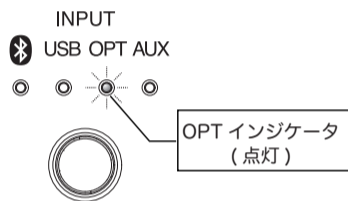
接続

別売の光ケーブルを使って本機とテレビやポータブルオーディオ機器などを接続します。



OPT入力の選択

1. 本機の電源がオンしていることを確認します。
2. OPTインジケータが点灯するまで、[INPUT]選択ボタンを繰り返し押します。



MacOS Sonomaの場合

1. アップルメニューから「システム環境設定」を選択し、「サウンド」を選択します。
2. 「出力と入力」項目の「出力」を選択し、リスト中の「OPSODIS1」を選択します。



Bluetooth 機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ⚠本機を分解/改造すること
- ⚠本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の動機無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、8ページに記載しております『OPSODIS1カスタマーセンター』まで、お問い合わせください。

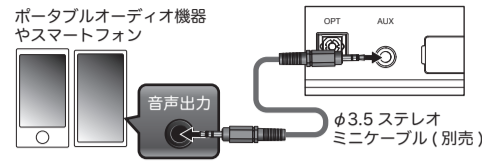
2.4FH1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

AUXで接続する その他のオーディオ機器との接続

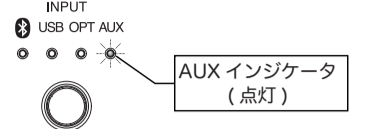
接続

別売のφ3.5ステレオミニケーブルを使って本機とポータブルオーディオ機器などを接続します。



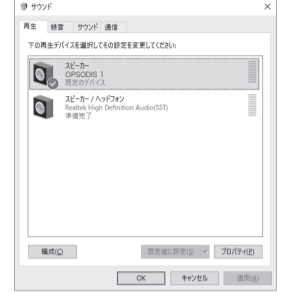
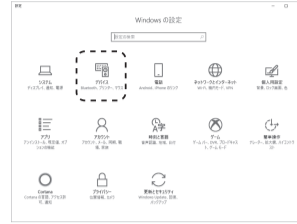
AUX入力の選択

1. 本機の電源がオンしていることを確認します。
2. AUXインジケータが点灯するまで、[INPUT]選択ボタンを繰り返し押します。



Windows10の場合

1. Windows10の10スタートメニューから「設定」をクリックしデバイスを選択します。
2. 「サウンドの設定」を選択します。
3. 「OPSODIS 1」を選択します。



Windows11の場合

1. スタートメニューから「設定」をクリックし、「サウンド」を選択します。



2. 「スピーカー」の「OPSODIS1」を選択します。右矢印を押すと右記の画面に切り替わり、サンプリング周波数が設定できます。



製品保証・アフターサービスについて

製品保証・アフターサービスについては、「アフターサービス・修理・保証規約」に基づきます。詳細の内容については、下記URLをご覧ください。

https://kajima-opsodis.com/pages/repair_terms

- 保証期間は納品書に記載の発送日より1年間です。
- 本規約に基づく無償修理または無償交換(以下あわせて「無償修理等」といいます)の保証期間内に正常な使用状態で故障が発生した場合は、無償修理等を行います。無償修理等をご希望の場合は、本製品および納品書をご用意のうえ、OPSODIS 1カスタマーセンター(以下、「カスタマーセンター」といいます)へご連絡ください。
- 保証期間経過後も、修理により製品性能の維持が可能な場合は、有償にて修理に対応いたします。
- 本製品の補修用性能部品の最長保有期間は、製造打ち切り後6年間です。6年経過前でも、アフターサービスの提供に必要な補修用性能部品の欠品等により、アフターサービスの提供を終了させていただくことがありますのでご了承ください。
- 当社カスタマーセンターの連絡先は、以下になります。お気軽にご相談ください。

TEL : 050-3381-5157
【OPSODIS 1カスタマーセンター】受付時間: 10:00~18:00 (月曜日~金曜日/祝祭日・年末年始を除く)
E-mail : info@kjm-ops-support.jp

不具合・修理のご依頼について

- 製品の不具合や修理のご依頼は、カスタマーセンターへご連絡ください。
- 本製品の修理は、預かり修理となります。出張修理には対応しておりません。

修理・交換について

- (1) 保証期間内に、カスタマーセンターまで修理の依頼をされた場合、無償修理等を行います。ただし、取扱説明書に従った正常な使用状態であった場合に限りです。修理または交換のいずれの対応となるかについては、発送いただいた商品を確認の上、ご連絡いたします。
- (2) 以下の場合は、保証期間内であっても有償修理または有償交換となります。
 - 誤った使用方法による使用、お客様自身による修理、改造による故障および損傷であると認められる場合
 - 落下、輸送、移動等による故障および損傷であると認められる場合
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害または異常電圧による故障および損傷であると認められる場合
 - 接続機器に起因する故障および損傷であると認められる場合
 - 消耗部品の自然劣化または経年劣化であると認められる場合
 - 特殊用途または過酷な条件下での使用による故障であると認められる場合
 - 国外で使用された場合
 - 製造番号(シリアルナンバー)が確認できない場合
 - 納品書の提示がない場合または購入日の確認ができない場合
- (3) 保証について
 - 本規約に基づく保証は、本製品を日本国内で使用されていた場合においてのみ有効です。
 - 本規約に基づく保証は、保証期間内における無償修理等をお約束するものであり、お客様の法的権利を制限するものではありません。
 - 納品書の再発行はいたしません。
- (4) 送料について
 - 無償修理等の場合
 - 発送時の送料は当社が負担いたします。着払いにて製品をお送りください。
 - 修理完了品または交換品は当社負担にて発送いたします。

有償修理その他の詳細については、下記URLのアフターサービス・修理・保証規約をご覧ください。

https://kajima-opsodis.com/pages/repair_terms



鹿島建設株式会社

〒107-8502 東京都港区元赤坂1-3-1